

別紙A

四日市版コミュニティスクール報告書（令和元年度総括）

四日市市立富洲原小学校

校長 世古 豊

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
- ② 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いを反映した学校づくりを推進します。
- ③ 様々な教育活動において、保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 地域の教育力を生かした特色ある教育活動

① 図書館ボランティアによる取組

保護者・地域の皆様に、『図書館ボランティア』として登録していただき、管理・整備グループ、飾り付けグループ、読み聞かせグループの3つのグループに分かれて、子どもたちの読書活動の充実のために取り組んでいただいています。

各学期の読書週間の取組や新刊や学習にかかわる本の展示等子どもたちが図書に興味を持つような図書館環境づくり、読み聞かせ等を行っていただきました。



② 地域の方による地域学習「地域の発展につくした人々」

4年生は、社会科「地域の発展につくした人々」の学習で、コミュニティスクールの委員の方から、「伊藤平治郎」さんについてや、「富洲原」という地名の由来、富洲原地区に今も伝わる祭り、「四九の市」のことについてお話を聞きました。



③ 地域に学ぶ「富洲原探検隊（町たんけん）」

3年生は、社会科や総合的な学習の時間で、地域の町探険に出かけ、地域のお店や神社、漁港で直接お話を伺い、話を聞いたことをまとめました。

④ 地域の人材活用「英語落語」

6年生は、英語落語を通じて、世界の人たちとコミュニケーションをとられている方と触れ合うことで、国際交流の在り方に触れることができました。

⑤ 地区消防分団・地区自主防災隊と連携した防災教育

4年生は、防災学習として、富洲原消防分団の方に来ていただき、地域のために活動されているみなさんの様子を学習しました。また、地区防災隊との合同訓練では、毛布を使った簡易担架の作り方や非常食の炊き出し体験をしました。

⑥ 地域の方によるゲストティーチャー「5年生理科」

地域在住の理科教育の専門家の先生に来ていただき、4・5・6年生において、理科専科と協働した授業をしていただきました。



(2) 地域団体との連携 地域行事への積極的な参加

① 地区見守り隊等による登下校の安全確保

保護者の旗当番、地区見守り隊、民生児童委員さんたちによる登下校の安全指導等、子どもたちの見守りや安全指導を行っていただきました。

② とみすはら大運動会

今年度で3回目となる三地区合同の「とみすはら大運動会」を土曜活動に位置付けて、児童の地域行事参加を働きかけています。児童だけでなく、先生達も「先生バンド」として参加しています。

(3) 富洲原中学校区コミュニティスクール（愛称「^{さんびょうシーエス}三錨CS」）としての取り組み

富洲原中学校区では小中学校が連携して「富洲原中学校区コミュニティスクール（愛称「^{さんびょうシーエス}三錨CS」）」を運営しています。愛称の「三錨」は、富洲原の三地区を3つの錨で表し、それぞれの地区がしっかりと組んでよりよい地域を築いていくことの象徴で、富洲原小学校と中学校の校章のモチーフでもあります。富洲原中学校区コミュニティスクールを通じて、地域・家庭・小中学校が一体となった学校づくりにさらに取り組んでいきます。

① 保・幼・小・中（中3）による音楽集会

本校全児童に加え、富洲原保育園・幼稚園の年長組園児、そして富洲原中学校3年生の皆さんに来ていただきました。

それぞれの合唱の発表の後、先生バンドも参加して「世界がひとつになるまで」を全員で合唱し、会場全体が一つになった素晴らしい歌声が響き渡りました。委員の方からは、伝統ある建物の「講堂」を有する富洲原ならではの素晴らしい取り組みだとのお声を毎年いただいています。



② 学校創立記念式典

毎年40名近いご来賓の方をお招きし、6年生児童・職員・PTA役員が参加して「創立記念式典」を行っています。地域の学校に寄せる「願い」や、卒業生（三錨会会員）の「思い」が脈々と受け継がれている、富洲原小学校ならではの取り組みです。



③ 富洲原保育園・富洲原幼稚園との交流

富洲原保育園・幼稚園の年長組園児の皆さんに来ていただき、交流会や給食試食会を開きました。また、保・幼・小合同で、津波避難階段を使って小学校の屋上に避難する「避難訓練」を行いました。

(4) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度も、地域の方にゲストティチャーとして来ていただき、理科や地域学習の充実を図ることができました。3学期に予定していた行事の一部（和菓子づくり体験、地域の敬老会「きらく会」の方々との昔の遊び交流会）は、感染症拡大防止のため残念ながら本年度は中止となりましたが、今後も地域との関わりを深め、地域とともにある学校という認識を深める取組を進めていきます。



また、「四日市版コミュニティスクール」委託の4年目、富洲原中学校区コミュニティスクールとして発足して2年目となり、家庭・小中学校が一体となった学校づくりを推進してきました。年間5回のコミュニティスクール運営協議会は小中学校合同で開催し、運営協議会とあわせて、小・中学校それぞれの授業、創立記念式典、音楽集会等を参観していただきました。そして、その様子や様々な角度からご意見をいただき、教育活動に反映することができました。特に今年度は、創立記念式典や卒業式などの学校行事が子ども主体の行事になるよう来賓の人数や挨拶を見直してはどうか、というご意見を委員の皆様からいただき、小学校と中学校が連携してご参加いただく方の見直しを行いました。

保護者や地域の方々に子どもたちの様子を見ていただいたり、直接言葉をかけていただ

いたりすることで、学校や子どもたち自身が様々な方に認められていることを実感でき「地域に学び、地域を愛す」気持ちを高めることにつながりました。

3 今後に向けて

今後も四日市版コミュニティスクール推進に向けて、取組を検討し様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら地域コミュニティづくりを推進します。

コミュニティスクール推進のために、保護者の皆様だけでなく地域の方々にも様々な情報を適切に発信していく必要があります。今後も学校だより等の各種たよりの発行や、学校ホームページでの情報発信を通して、地域に積極的に情報発信をしていきます。そして、学校・地域・保護者・各校園がさらに連携を深め、「地域に学び、地域を愛し、地域の未来を創造する子ども」という目指す児童像に向かって、取り組んでいきたいと考えています。

別紙B

令和元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 富洲原小学校

委員長 野村 幸廣

校長 世古 豊

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会	I 校長挨拶及び委嘱状手交 II 議事 (1) 委員長・副委員長の互選 (2) 「学校づくりビジョン」について 各担当より説明・承認
6	第2回運営協議会	I 授業参観 II 報告・協議 (1) 学校の現状について (2) 授業参観後の感想および意見交流・情報交換
7		
8		
9	第3回運営協議会	I 創立143周年記念式典臨席 II 報告・協議 (1) 教育活動前半の総括 ・全国学力・学習状況調査及びNRTの結果 に基づく自校の状況分析について ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 について (2) 創立143周年記念式典の感想等
10		
11	第4回運営協議会	I 音楽集会参観 II 報告・協議 (1) 音楽集会感想および意見交流・情報交換
12		
1		委員による学校参観（自由参観）
2	第5回運営協議会	I 授業参観 II 報告・協議 (1) 「教育活動に関するアンケート」等の報告 (2) 「学校関係者評価」について (3) 意見交流・情報交換
3		